

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

主体的な活動・学びにつながる ICT 活用 「調理（手順や調理方法の視覚化）」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・高等部2年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・高等部通常の学級。簡単な音声言語は理解しており、生徒同士でやり取り可能な生徒がいる一方で、一斉での指示理解が難しい生徒もおり、実態差が広い。書くことに対して苦手意識があったり、枠内に丁寧な文字で記入することが難しかったりする生徒もいる。ICT 機器への興味関心が高く、視覚的情報での支援が効果的な生徒が多い。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	生活単元学習
	単元(題材)名	単元名「収穫祭をしよう」
	単元(題材)の概要	・育てた野菜で収穫祭を行う。一人一人が調理したいものを選び、なぜその料理を作りたいのか、また調べたこと(必要な材料や調理手順、調理動画や画像)を PowerPoint にまとめ発表する。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	タブレット端末、モニター、アプリ (PowerPoint)  
	ねらい・工夫点	〈ねらい〉 ○文字を書くことが苦手な生徒も多くの文字を打つことができ、他の生徒も文字が見やすいため、発表に注目して見たり聞いたりすることができる。 ○確認事項や報告・相談の仕方について触れ、自分から発信する力を身に付ける。 ○ICT 機器の簡単な操作法を学習し、学んだことを生かしながら調べ学習に取り組むことができる。 〈工夫点〉 ・大まかなテンプレートを準備することで、生徒が取り組むべきポイントを分かりやすくした。 ・調べ学習用のワークシートを準備し、「機器の操作」と「調べ学習」を別にすることで、学習活動を分かりやすくした。 ・調理動画を載せることで、料理のイメージをもたせやすくした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ (PowerPoint)
子どもの変容や評価		・文字を書くことが苦手な生徒がスムーズにシートを作成することができた。 ・友達の発表に対して、興味をもって聞こうとする姿が見られた。 ・ICT 機器の操作法の理解を深めたことで、文字の入力や画面録画の方法、タブレットを用いた調べ学習をすることができた。

(令和6年度)